

★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

188号



2017年3月17日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 板橋区での説明会は1回のみ

—国交省主催の

オープンハウス型説明会—

3月29日(水) 14:00~19:00

志村坂上地域センター2階洋室A

(板橋区小豆沢2-19-15) tel. 03-3969-7577

地下鉄都営三田線志村坂上駅から徒歩1分

常盤台からですと、志村三丁目行きバスで志村三丁目まで行き、ひと駅地下鉄に乗る、のが良いかもと言っていました。赤羽行きのバスだと、志村1丁目のバス停で降りて15分ほど歩かねばならないそうです。下板橋や大和町から地下鉄に乗り換える手もあります。

国交省が町会の回覧板で他の説明会会場を紹介していましたが、行きやすい所は和光市中央公民館(5月10日、南口徒歩10分)新宿駅西口広場(4月1日)赤羽北区民センター(4月1日、埼京線北赤羽徒歩1分)位でしょう。

○ 会派の弊害

この問題で板橋区議会に国交省に意見書を出すよう陳情が幾つも出されています。意見書提出には全会派の賛成が必要だそうです。都心低空飛行のような国民共通の問題であっても、普段の会派意識が邪魔をするのか、A党が積極的だとB党がそっぽを向く、B党がまとめに乗り出すとA党が引っ込んでしまう、といったことはやめて貰いたいと思います。また個人としての見識を持たず、党の思惑だけを忖度して、全く動かない議員たちもいます。市民運動としては本当に党派、会派は困りものです。

○ 図書館移転後の跡地についての意見交換会があります

3月22日(水) 18:30~

中央図書館地下の視聴覚室

板橋区の計画では区民事務所と地域センターを持ってくる、図書館機能についてある程度考慮、という段階です。図書館機能とはどの程度のことでしょうか。引き続き区民・住民の意見を反映させるために多数のご参加を願います。

○ ときわ台駅改修

1丁目のIさんは個人的に東武と接触があり、駅舎改築についても、まちの景観の観点から独自の改修案を提案しています。また、新駅ビルが5階建てになることも、景観上適切ではないと考えているそうですが、最近になって東武鉄道からIさんが聞いたところでは、

- * 現駅舎の両側を壊し終わった後交番側には仮の駅舎を建設しそこで暫定的に駅業務を行う。
 - * 仮の駅舎が出来たら現駅舎の保存改修工事に着手する。
 - * 現駅舎の改修が終わったら仮駅舎を壊しそこに5階建ての商業ビルを建てる。
 - * 現トイレは現駅舎右側建物に移設し、駅事務室を作り駅員が寝泊まりできるようにする。
 - * エレベーターを設置する計画であるが場所は未だ決まっていない。
- ということだそうです。

また、しゃれまち協議会では解体の話は既に協議されていますが、建築については新しく協議があるはずだそうです。

ハクビシン退治

最近タヌキは目撃されていませんが、ハクビシンは結構増えているようです。

二丁目のIさんのお宅では、屋根裏で音がするので気をつけているとハクビシンが出入りするのを見つけました。屋根裏での糞尿の被害が心配なので、区役所に駆除を相談すると、その方面の業者を紹介されました。

その業者は出入り口を金網で塞ぎ、忌避剤をひとつまみ屋根裏に撒いただけでしたが請求書は十万円以上だったとか。適切な価格だったか疑問とのことです。

ハクビシンなどの野生動物は、死骸であれば区の衛生課が始末してくれませんが、駆除はしないので、民間業者に頼むほかないようです。

以前、タヌキが庭にいたので区に連絡したところ、捕まえてくれればなんとかする、と言うので、ご近所総出で大騒ぎで捕まえたという話も聞きました。

庭の消滅

土地の細分化は、地価の高騰・相続問題の発生・相続税など、個人の努力では解決できない制度のために、避けられない傾向になっています。普通の分割でおさまらず、旗竿地がいくつも見受けられるようになっていきます。常盤台景観ガイドラインで百二十三平米以下の細分化を抑えています。このままでは余裕がない街になりそうです。新しく建築中の家を見ると、庭を造る家がほとんどありません。庭木が激減し、生け垣も作らなくなると、常盤台のまちの潤いというか、緑のもたらす恩恵はどうなってしまうのでしょうか。

大丈夫なの？オリソピック騒ぎ（7）

* 熱しやすく冷めやすい日本人

あんなに大騒ぎだったオリソピック関係の設備費・維持費の見直し報道がすっかり鳴りをひそめて、今はWBT一色である。大勢が動けば直ぐ乗せられる愚かな国民なのかもしれない。この調子で戦争にも突入してしまったのだろう。大勢が熱狂している時は、特に醒めた目で見極めねばと思う。そして大事なことは問題が解決するまで諦めないことだ。それが次の日本を良くするのだから。

宇都宮美術館での「石の街」展

宇都宮美術館では三月五日まで「石の街」のみやー大谷石をめぐる近代建築と地域文化」という企画を開催、二月二六日にはシンポジウムも催されました。

関心のある住民三人で、ときわ台駅と兄弟の南宇都宮駅を見がてら行って来ました。

驚いたのは、南宇都宮駅の設計図が展示されていたことでした。東武博物館や花上さんのご協力があったのでしよう。ときわ台駅の設計図もひよっとして存在するかもしれません。両駅と大谷石について、今年中にまた講演会を企画したいと思います。

また、常盤台一丁目に住んでいた岩崎鐸さんの絵が二枚もあつたのにも驚きました。大作ですが常設展示です。絵の中の女性の面影は、岩崎夫人そっくりだそうです。絵画教室を開いていたので、習いに通った人もいるのではないのでしょうか。

常盤台公園のはなづくり

公園北側の植え込みに人の踏み込みが頻繁となり、道ができてしまったところも出てきました。

子供たちが荒らしているように思われます。Tさんが目を光らせていないと、こんな影響も出てくるのだと思いい知らされました。

また、北側斜面で、富貴草の群落がグランドカバーになっていて二カ所のみです。アロエの苗も腐っているのが見られるので、何か病原菌のせいかと思われれます。緑と公園課に相談して、土の入れ替えも検討しようかと思えます。

Hさんが寄付して下さったアジュガは何とが増えてきました。シソ科のきれいな花が咲くのが楽しみです。

チューリップの間や芝生の中の雑草が生え放題になっていたのをやっと退治しました。肥料を雑草が奪ってしまうので、早くに抜いておかねばならないのです。が・・・。そのうちSさんが芝生の根切りをしてくださることでしょう。

駅前ロータリーの花壇は年4回ほど区で花苗を植えています。白のアリッサムはいつもハトが花だけ食べてしまうようです。